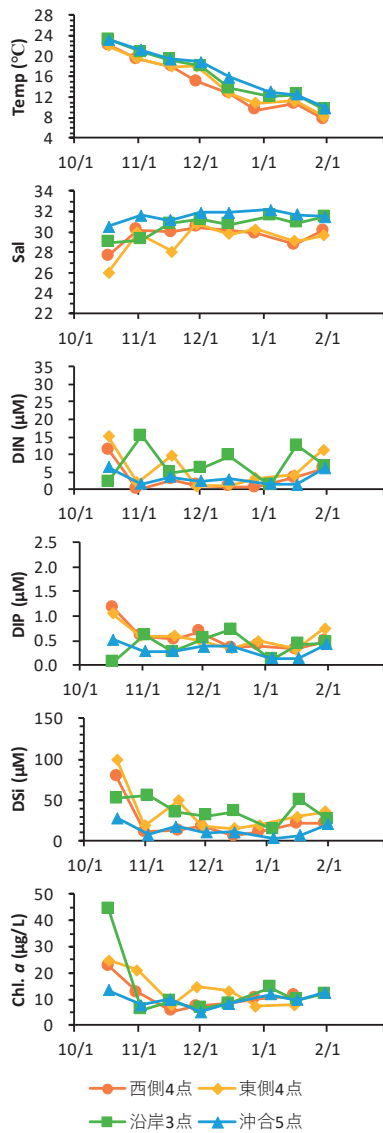
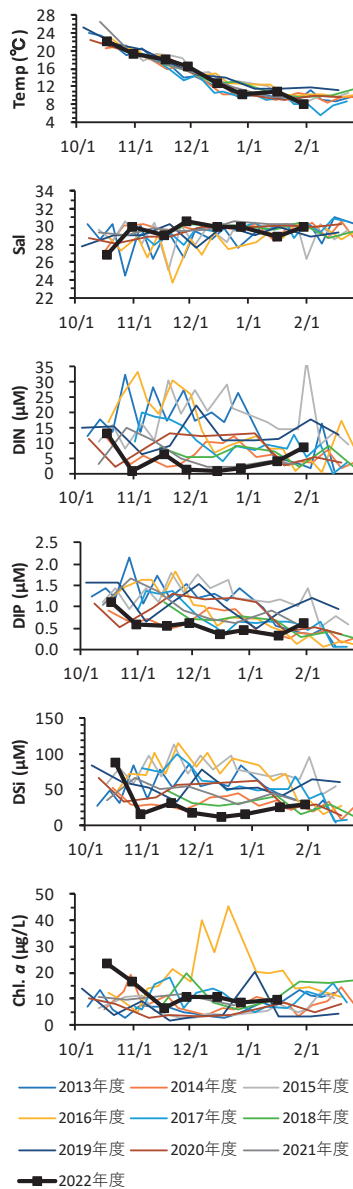


a) 2022年度の海域別平均値の推移



b) 10力年の奥部海域全点平均の推移



c) 10力年の中央部海域全点平均の推移

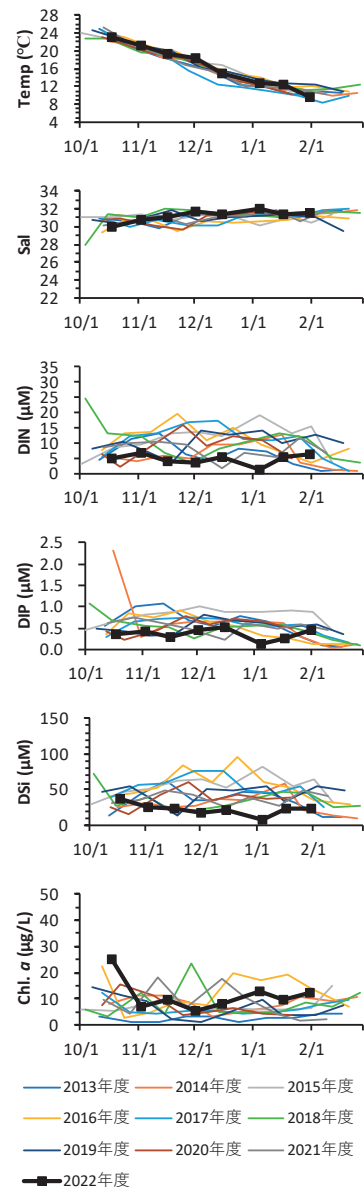
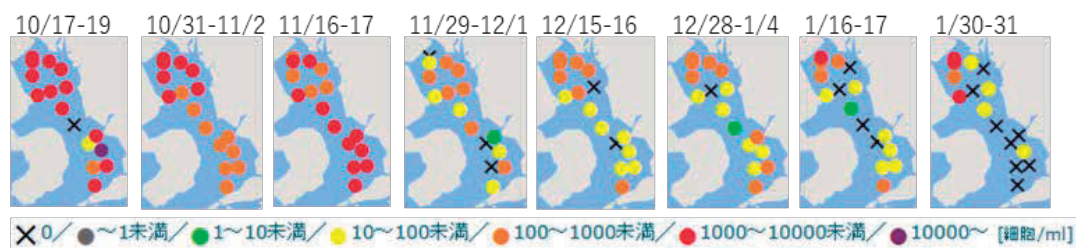
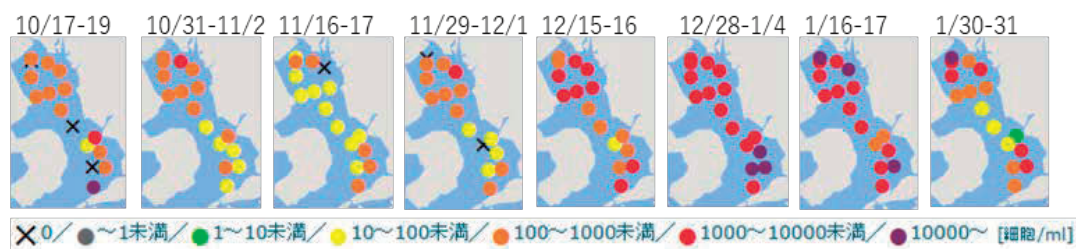


図4 a) 2022年10月から2023年1月の有明海奥部西側域 (T2, T13, P6, P1), 奥部東側域 (T3~T5, 6), 中央部沖合域 (1~5), 中央部沿岸域 (7~9) の表層における水温, 塩分, DIN, DIP, DSI, Chl. *a* の平均値の推移, および2013年度から2022年度の10月から2月 (2022年度は1月まで) における b) 奥部海域全定点および c) 中央部海域全定点の表層における水温, 塩分, DIN, DIP, DSI, Chl. *a* の平均値の推移

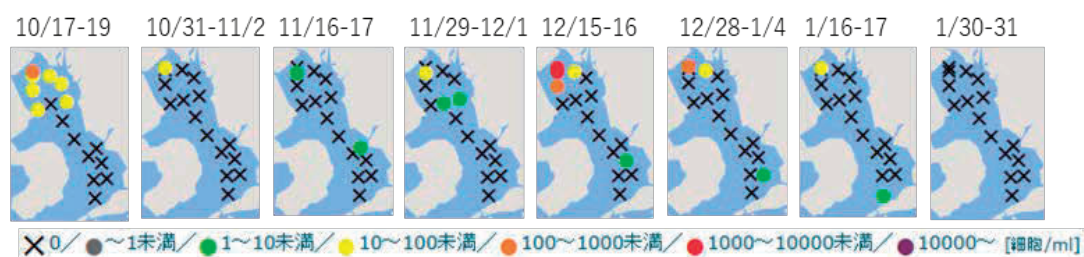
a) *Chaetoceros* spp.



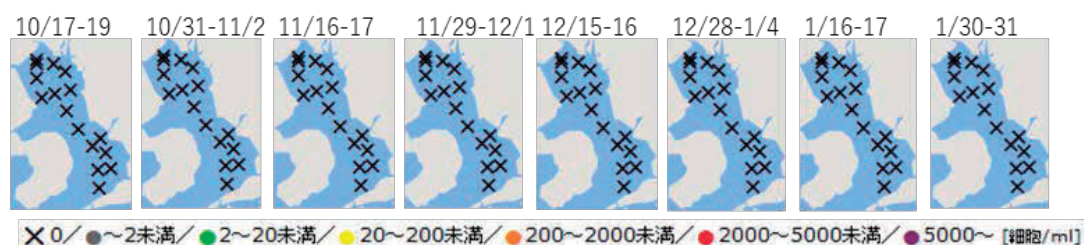
b) *Skeletonema* spp.



c) *Eucampia zodiacus*



d) *Asteroplanus karianus*



e) *Akashiwo sanguinea*

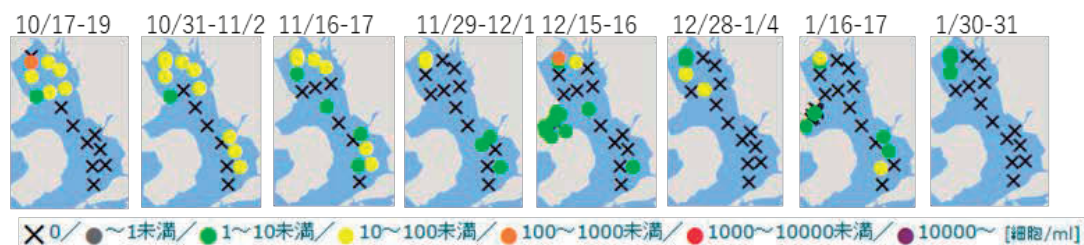


図5 2022年10月から2023年1月までのa) *Chaetoceros* spp., b) *Skeletonema* spp., c) *Eucampia zodiacus*, d) *Asteroplanus karianus*, e) *Akashiwo sanguinea* の各定点における細胞密度（赤潮ネット「赤潮分布情報」の分布図より作成。本事業以外による各県の調査データが含まれる）

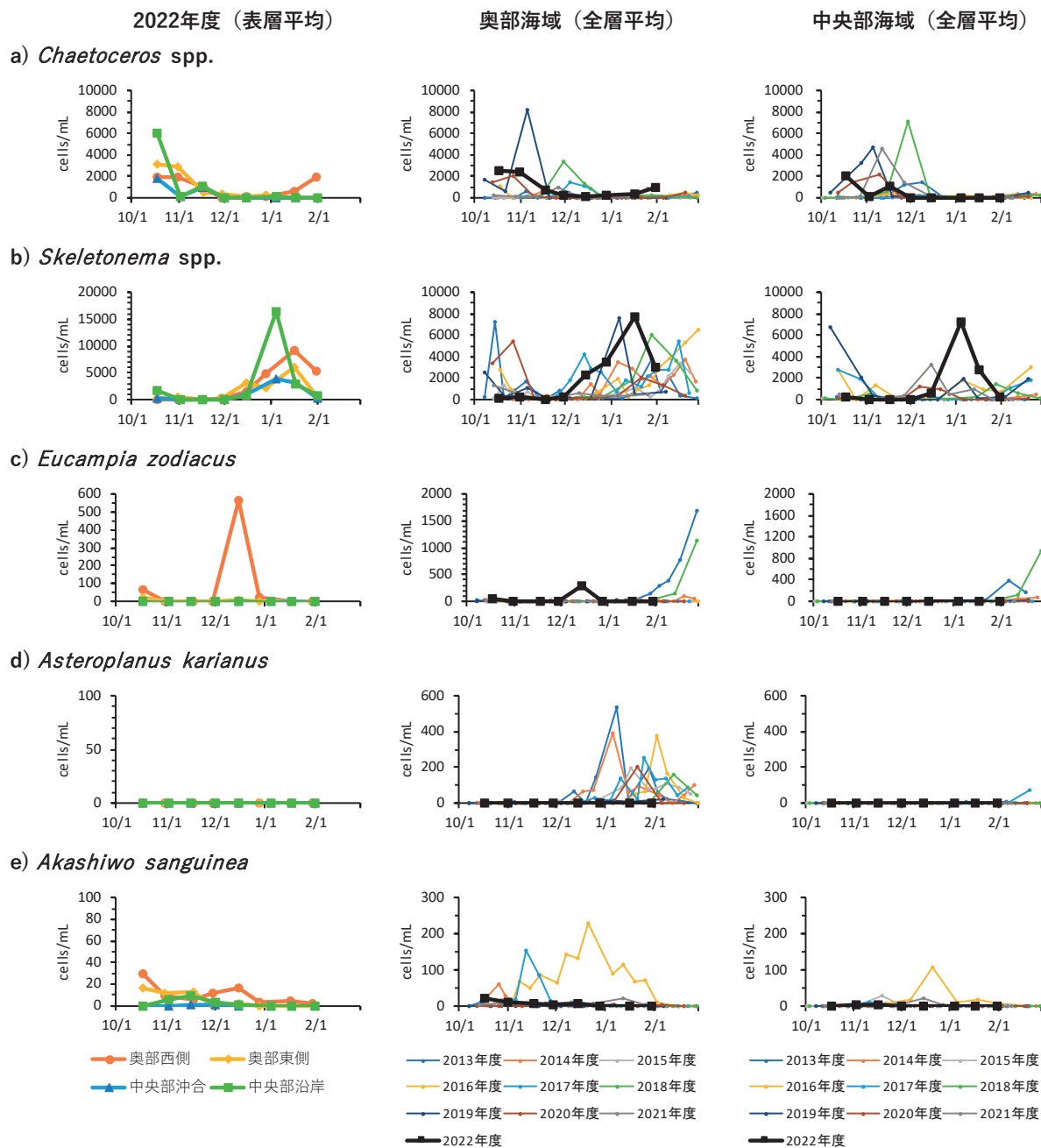


図6 2022年10月から2023年1月の水域別定点における表層（左）および2013年度から2022年度の10月から2月（2022年度は1月まで）の奥部海域（中央）および中央部海域（右）における全定点の全採水層の a) *Skeletonema* spp., b) *Chaetoceros* spp., c) *Eucampia zodiacus*, d) *Asteroplanus karianus*, e) *Akashiwo sanguinea* の平均細胞密度の変化